

# 「環境交通のまち・あらかわ」 の実現に向けて

平成22年2月17日 荒川区環境清掃部環境課

### 荒川区の概要



人口: 202,414人

人口密度:18,324人

面積:10.2kmi

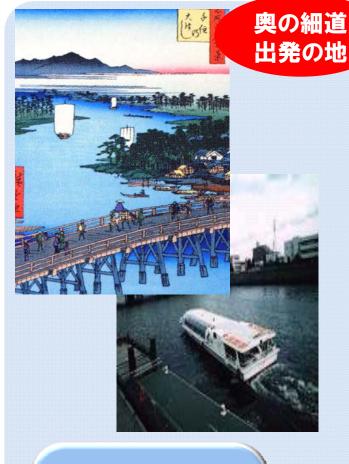
23区の北東部に位置

人と人との距離が近いまち、下町人情の息づくまち



### あらかわのまち





隅田川

千住大橋



あらかわ遊園



都電荒川線



日暮里繊維問屋街

## 荒川区を走る交通機関



JR(山手、京浜東北、常磐)	京成電鉄	都電荒川線
	3020	
東京メトロ(千代田、日比谷)	つくばエクスプレス	コミバスさくら
I AL S		376 55 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20
隅田川水上バス	日暮里・舎人ライナー	都営バス
	02	272A PO 7/12 223 PO 7/12 23 23 (5) 6

### 荒川区の基本構想



将来像

# 華福美術市あらかわ

#### 基本理念

- ●すべての区民の尊厳と生きがいの尊重
- ●区民の主体的なまちづくりへの参画
- ●区民が誇れる郷土の実現

安全安心都市

生涯健康都市

文化創造都市

六つの都市像

子育で教育都市

環境先進都市

産業革新都市

#### 環境交通の目標





「環境先進都市」を目指し「環境交通のまち・あらかわ」実現のための6つの環境交通目標を掲げた。

### EST取組の経緯

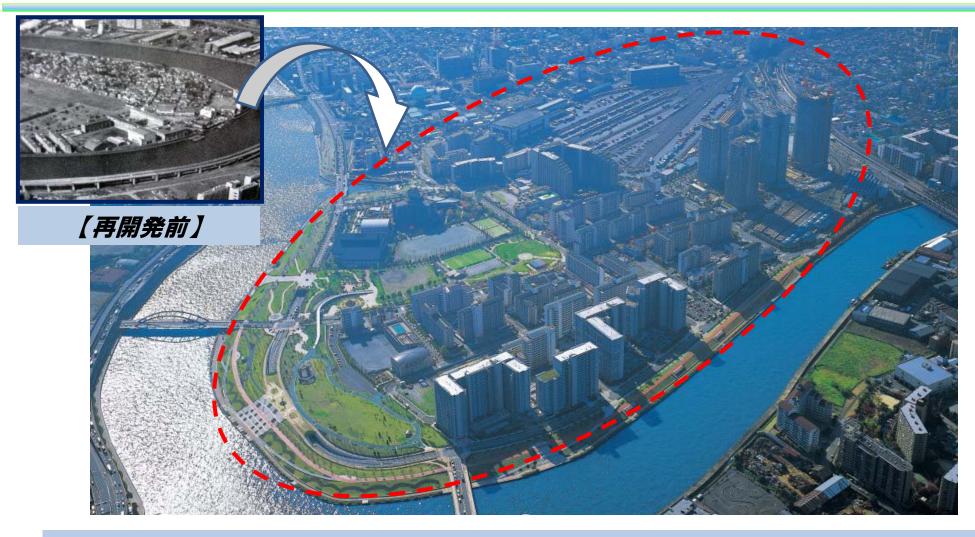




18年12月にESTモデル事業実施地域に選定される。20年2月には運輸部門の $CO_2$ 排出削減に向けた方針を「環境交通省エネルギー詳細ビジョン」として策定

#### EST取組を進める重点地域





重点的に取り組むモデル地域として、まずは再開発で地域の変化が大きい南千住・汐入地域をモデル選定し、取組を進めていくことにした。

## 荒川区EST協議会 組織体系



## 荒川区環境行動計画モデル事業(EST)協議会 全45名





事業者検討部会全15名

まちづくり検討部会全17名

区民、事業者、区が協働し19年4月にEST協議会を発足。汐入地域における環境交通の事業計画策定・推進を行っている。普及啓発事業は2つの部会で検討を行っている。

### 削減目標~主な取組内容~削減結果



19年度

20年度

21年度

汐入における自動車利用 率対前年比0.5%削減 運輸部門におけるCO<sub>2</sub> 排出量対前年比1%削減 運輸部門におけるCO<sub>2</sub> 排出量対前年比1%削減

交通実態調査の実施

省エネビジョン作成

重点事業 モビリティ・マネジメント(MM)の実施

重点事業 エコドライブの促進

重点事業カーシェアリングの導入支援

環境交通イベントの開催

小・中学校における環境交通学習会

シンポジウム&ワークショップ

ワークショップ

交通手段のうち自動車の占める割合は3.0%増加

削減量合計:1270.9t 達成度:前年比0.71%の削減

#### モビリティ・マネジメント(MM)の実施



#### H20年度 「環境交通のまち あらかわNEWS」 の発行



6大新聞紙を活用、区内70,000世帯に一斉折込

添付のハガキでTFP実施

9月

- ・情報誌の発行(9/14)
- ·添付の応募ハガキでTFPアンケート への参加を募集

517名参加

10月

- · 応募者へTFP実施(事前調査)
- ・アンケートと小冊子送付

357名回収

11月

申込者へTFP実施(事後調査)

266名回収

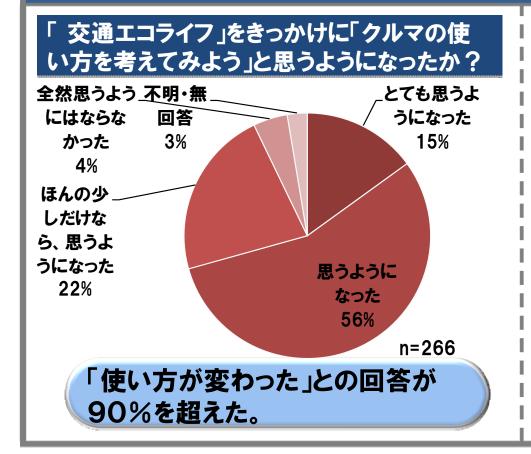
12月

NEWSや小冊子の読了前後における交通行動の変容を比較

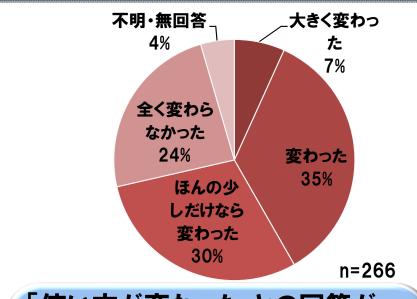
#### モビリティ・マネジメント(MM)の実施



#### H20年度 「環境交通のまち あらかわNEWS」アンケート結果







「使い方が変わった」との回答が 70%を超えた。

MMを実施することで、クルマの使い方を見直すきっかけとなり、 $CO_2$ 削減に貢献した。

#### モビリティ・マネジメント(MM)の実施



#### H21年度 「あらかわ便利マップ」「交通エコライフブック」 の発行





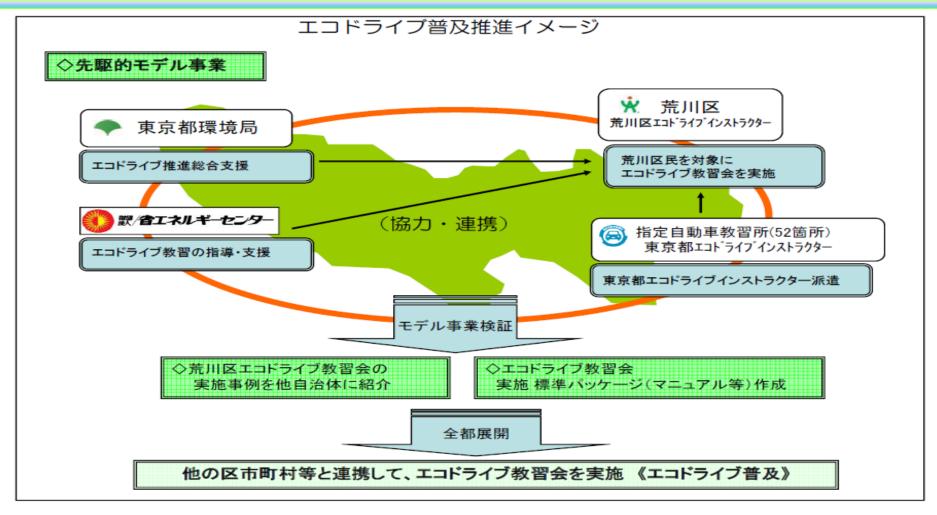
公共交通・自転車・カーシェアリング情報を網羅した便利MAPを作成

区内転入者に対し区役所窓口で配布

TFPアンケートを実施

転入者向けMMを実施。まだ交通手段が固まっていない段階で、クルマよりも公共交通を使う方向に導く。





モデル事業として東京都環境局・省エネルギーセンター・指定自動車教習所(52箇所)・荒川区が協力・連携しエコドライブを推進



#### エコドライブインストラクターの養成教習会実施

全14名

## 荒川区エコドライブ インストラクター

指定自動車教習所



トラック協会荒川支部

コミバス事業者

区内タクシー事業者

関連NPO団体

区職員

都度講師の派遣をしてもらうのではなく、区が独自で教習会を継続的に実施できるよう、地元の方たちにインストラクターを依頼





1周約2.7km

教習コースは汐入地区の公道にて実施。巡航で走行できる区間が長い等、自動車教習所で行う教習会と比較してメリットが多い。



#### H21年度 エコドライブイベントの開催(@区内ショッピングセンター)

エコドライブ教習会:約40分



買物客へのアプローチで体験者



エコドライブシミュレータ:約10分

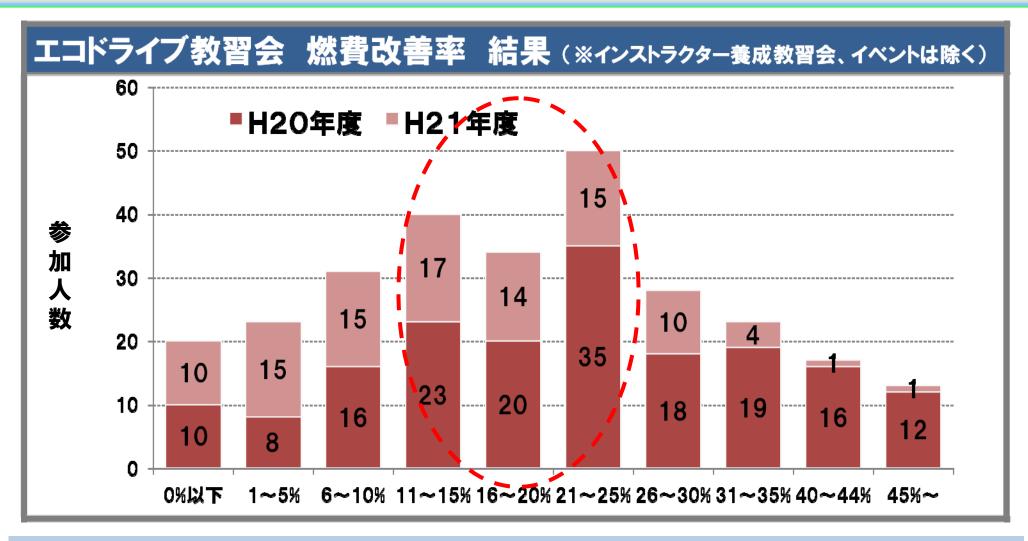


ゲーム感覚で体験者



通常のエコドライブ教習会では長時間の拘束がネックとなり受講者が伸び悩んだが、短時間でエコドライブを普及するイベントを開催。





20年度の平均は21%、21年度は13%であった。実車を伴う受講者数は ショッピングセンターイベント、インストラクター養成あわせ、のべ約300名。

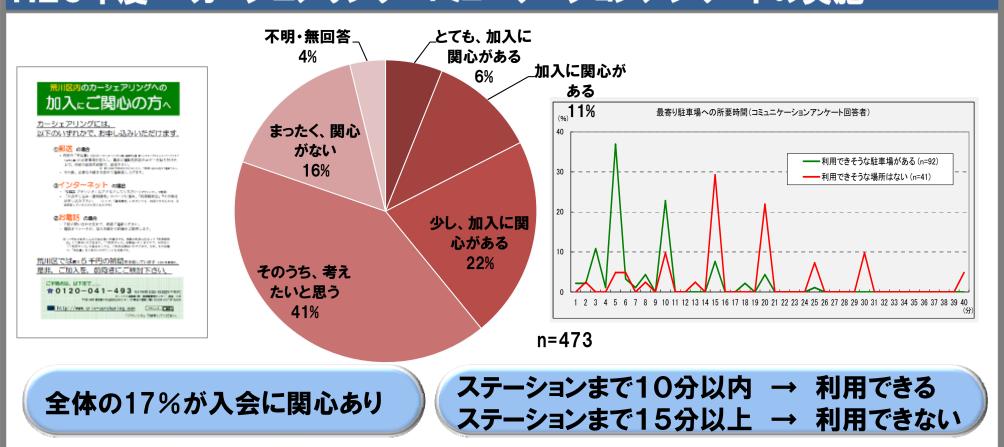




平成19年10月に南千住に2ヶ所のステーションが配置され、現在までに区内5箇所に配置。車両数は合計で8台。



#### H20年度 カーシェアリング コミュニケーションアンケートの実施



カーシェアリング普及に向け、ステーションの配置方法などの基礎的調査を行った。



#### H20年度~ カーシェアリング導入支援助成

内容 会員となる際に必要となる初期経費(登録料、カード発行手数料等)を助成

対象者 区民及び区内に事業所を有する事業者

金額 5,000円/件

金額

#### H20年度~ アイドリングストップ装置導入支援助成

内容 後付アイドリングストップ装置の購入及び装着費用の一部(1/3)を助成

対象者 区民及び区内に事業所を有する事業者

30,000円/台(※助成限度額)



#### H21年度 電気自動車によるカーシェアリングの導入



- ·電気自動車購入
- ・充電器の購入
- ・ステーション提供

# 美同利用

区民

区職員



CS委託 事業者

- ·電気自動車管理
- ・予約システム提供
- ・データ集計

事業者

#### EST普及啓発事業

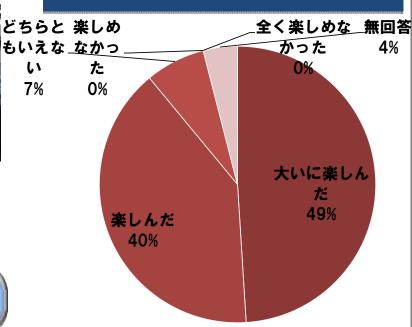


#### H19年度~ EST普及啓発イベントの開催



ZI/X HX th

Q. イベントは楽しめましたか?



カーフリーゾーン

大道芸イベント

バス、鉄道事業社に よるブース出展

エコカー試乗会

等

地元商店街と協働し開催。大通りを車両通行止めにし、カーフリーデーのような"道"を楽しむイベントを開催。汐入住民の20%、約3,000人が参加した。 商店街の賑やかしや住民の自動車利用抑制などの効果をもたらした。

#### EST普及啓発事業







汐入地区小4~6・中1生を対象とし、「創ろう!環境交通のまち 汐入」のテーマに基づき授業を実施。20年度は全531名が取組んだ。

#### EST普及啓発事業



#### H19年度~ 小中学生向けEST学習会の開催

#### 20年度 計画

・20年度の中1生が 自転車シェアリング について計画





#### 21年度 実現

・21年度の中1生が 自転車シェアリング を実験



20年度の中1生が提言を行ったレンタサイクルシステムについて、21年度の中1生が環境交通イベントでレンタサイクル事業(20台)を実現。

## (参考)H2O年度の具体施策とCO<sub>2</sub>削減効果



具体的施策の算出結果	C O 2 南鉄効果 (t-C02/年)
駅のパリアフリー化・駅前整備	
駅のパリアプリー 化や駅前広場の整備によって利便性が向上し、クルマ利用者が公共交通の利用へ軽減され、決勝等が解消された。	445.7
鉄道の新ルート連行	
日華里・舎人ライナーの問題により、沿線の御営パス利用者 81.8%が鉄道へ軽換された。	21.3
コミュニティバスの新ルート運行	
町屋駅〜グリーンハイム荒川間のコミュニティパスが住復運行により、町屋駅方面からの帰宅時のクルマ利用者がコミュニティパス利用へ転換された。	4.2
平成20 年10 月末に、沙入地域領珠コミュニティパスの新規ルート開設され、クルマ利用者がコミュニティパスの利用へ転換された。	1.9
駐輪場の設置・整備	
新たに整備された 1,610 台が収容可能な駐職場に登録された 841 台の内、9.0%がパス利用 から自転車利用へ転換された。	2.8
魅力ある道路利用	
平成 20 年 10 月 12 日の環境交通イベントの実施により、約 8,000 人がイベントに参加し、そのうち自動車保有者 5994が当日のクルマ利用を控えた。	2.5
カーシェアリングの導入支援	
区内全域で 34 名がカーシェアリングの会員となり、また、区内4所でステーションの整備がなされ、共同利用が促進された結果、不要不急の自動車利用が抱えられた。	10.9
エコドライブの促進	
区内登録の一般営業車の1台に役付アイドリングストップ減量が導入された。	0.2
区内事業者等からなるエコドライブインストラクターを施成し、区長や事業者を対象としたエコドライブ教育会に 208 名が参加し、エコドライブが実践された。	163.0
低公害車等の導入促進	
年間に更新される区内に保有される自動車のうち約2%がハイブリッド自動車に軽換された。	78.8
モビリティ・マネジメント(MM)の実施	
区内全域70,000 世帯を対象とした「環境交通のまち・あらかわ NEWS」の配布によるMMを実施した。参加者 286 名がクルマ 利用を控え、公共交通、自転車等の利用が促進された。	(15.7)
上記M Mic 参加されなかった区民に対する NEWS 第7の効果検証を確認するため、無作為 抽出 8,700 名に対し、アンケート調査を実施した。1,887 名から回答を守て、自動車利用を控え、 公共交通、自転車等の利用が促進された効果が確認された。	541.1



コミュニティバスさくら 汐入循環 [H20.10.31運行開始]



日暮里・舎人ライナー [H20.3.30運行開始]

#### 環境交通シンポジウムの実施

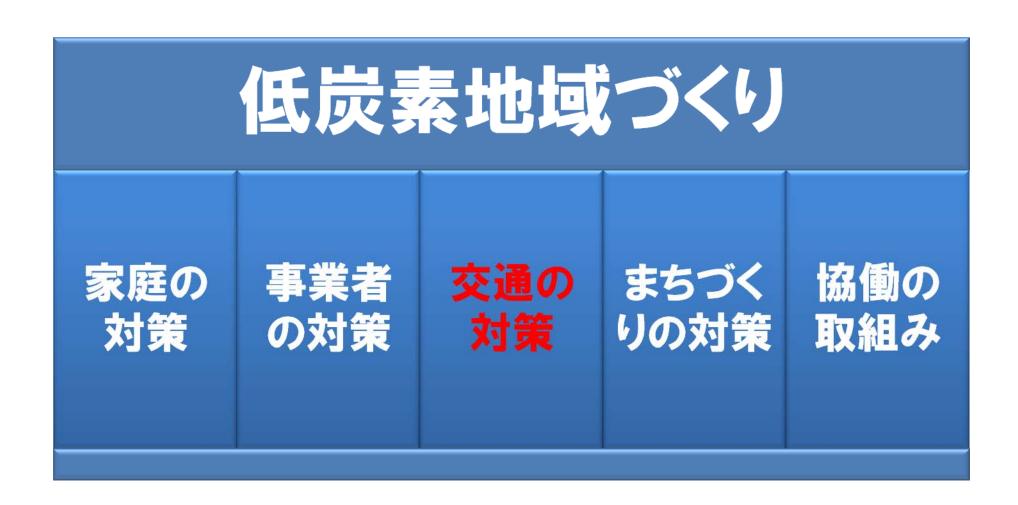


#### 環境交通ワークショップの実施











# ご清聴ありがとうございました



ワッくん

荒川区環境交通

マスコットキャラクター

「Aruくま」「ワッくん」

「あるみえちゃん」